専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講 座 の 名 称	理学療法学科					
実 施 方 法	通学 （ 昼間 ）					
指定講座番号(15桁)	0112020	—	2610011	—	3	
講 座 の 創 設 年 月 日 令和8 年4月1日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和11年3月31日まで	過 去 一 年 の 講 座 実 績	入講者数(28人)	修了者数 (23人)		
訓 練 期 間	48ヶ月		総 訓 練 時 間	3435時間		

1. 教 育 訓 練 目 標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	■ 業務独占資格・名称独占資格 (理学療法士) ■ 職業実践専門課程 (高度専門士) □ キャリア形成促進プログラム ( ) □ 専門職大学院 ( ) □ 職業実践力育成プログラム ( ) □ 情報通信技術関係資格 ( ) □ 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) □ 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ( ) 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 大学院受験資格など
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省・文部科学省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	本校に4年以上在籍し、卒業単位を満たした上で卒業を認定されること(見込みを含む)
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	病院などの医療分野だけでなく、老健や訪問看護ステーション(介護福祉分野)、フィットネスクラブ(スポーツ分野)、保健所や市役所(行政・保健分野)、福祉用具開発(産業・研究分野)など。

2. 教 育 訓 練 の 内 容

教 科 (カリキュラム)	時 間	使 用 教 材 名
(別紙添付参照)		
北都保健福祉専門学校 理学療法学科 教育課程及び授業単位数・時間	3435	教科書等

3. 受 講 者 と な る た め の 要 件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	なし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	以下のいずれかを満たすこと。 ①高等学校卒業した方及び入学年3月卒業見込みの方 ②高等学校乙業と同等以上の学力があると認められる方または、入学年3月までにこれに該当する見込みの方 ③高等学校を卒業または高等学校卒業と同等以上の学力があると認められる方で、出願時に通算し2年以上の就業経験を有する方

〔 特 記 事 項 〕

指定初年度であるため実績値はない。令和8年2月に公表する明示書は暫定的なもの(期間は令和8年3月末)とし、令和8年3月の入試受験を希望する方々に対する内容としている。令和7年度(2026年3月)卒業生からアンケートを実施し、次年度以降(令和8年度以降)に正式な明示書を公表する予定である。

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1)資格取得状況

① 前年度の修了者数	23	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	28	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	23	人	受験率(③/②)	82.1	%
④ ③のうち合格者数	19	人	合格率(④/③)	82.6	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	19	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	67.9	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。
この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2)受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		23	人	
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A:就業者計
	2 非正社員、派遣社員	0	人	
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	0人
	4 非就業	23	人	②B:非就業者計
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる	0	人	
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人	0人
④ 受講後の就業形態	1 正社員	19	人	④A:就業者計
	2 非正社員、派遣社員	0	人	
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	19人
	4 非就業者	4	人	④B:非就業者計
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)
	2 1割以上3割未満増加した	0	人	
	3 1割未満増加した	0	人	
	4 変わらない	0	人	
	5 1割未満減少した	0	人	
	6 1割以上3割未満減少した	0	人	
	7 3割以上減少した	0	人	0人
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	14	人	⑥の回答数合計
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人	
	3 社内外の評価が高まる	2	人	
	4 早期に転職・再就職できる	1	人	
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	3	人	
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	2	人	
	7 趣味・教養に役立つ	13	人	
	8 その他の効果	0	人	
	9 特に効果はない	0	人	36人
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	5	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人	
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人	
	4 就職していない	18	人	23人
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	8	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2 おおむね満足	12	人	
	3 どちらとも言えない	2	人	
	4 やや不満	1	人	
	5 大いに不満	0	人	23人

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	各期(前期・後期)において、試験結果・実習評価と判定・授業への出席率とその態度を総合判断し、必要に応じて学生との不足点を共有し補完している。

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法	
(1)受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率60%以上で合格。 補講・追試験は、認める。
(2)受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	各期(前期・後期)において、試験結果・実習評価と判定・授業への出席率とその態度を総合判断し、必要に応じて学生との不足点を共有し補完している。
(3)修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率60%以上で合格。 補講・追試験は、認める。
(4)修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たすこと。

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	習得度の低い教科を個別に指導する。理解度に合わせてより基礎項目から復習することもある。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	学内での就職説明会の実施、実習病院からの奨学金案内 随時案内と掲示板への掲示

8. その他の事項	
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人　稲積学園　　(代表者　稲積実佳子)
住所及び連絡先	〒078-8801　北海道旭川市緑が丘東1条2丁目1番28号　　TEL:0166-66-2500
施設名称及び施設長名	北都保健福祉専門学校　　(施設長　林　要喜知)
住所及び連絡先	〒078-8801　北海道旭川市緑が丘東1条2丁目1番28号　　TEL:0166-66-2500

苦情受付者	氏名　開田仁司　所属　本部	事務担当者	氏名　鈴木紘太　所属　事務課
連絡先	TEL　0166-66-2500	連絡先	TEL　0166-66-2500

専門実践教育訓練経費			
支払い方法 ①一括払 ②分割払 ③両方可能	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① +	5,080,000	円
	①入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	200,000	円
	②受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	4,880,000	円
	第1期	610,000	円
	第2期	610,000	円
	第3期	610,000	円
	第4期	610,000	円
	第5期	610,000	円
	第6期	610,000	円
	第7期	610,000	円
	第8期	610,000	円
	(うち、必須教材費	0	円)
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	1,023,550	円
	① 任意の教材費(税込額)	193,550	円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0	円
	③ 施設維持費(税込額)	800,000	円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代)(税	30,000	円
	3. 総額 (1+2) (税込額)	6,103,550	円

教育訓練給付制度の適正な利用に必要となる事項について

教育訓練給付制度を適正に利用していただくために、以下の点について十分にご理解いただくようお願いいたします。

（１）専門実践教育訓練給付金の支給対象となる教育訓練経費とは、受講者が自らの名において直接専門実践教育訓練実施者に対して支払った教育訓練の受講に必要な入学料及び受講料に限られます。

（２）受講料には、受講費のほか、受講に伴い必須となる教材費用等も含まれますが、検定試験受験料、補助教材費、補講費、交通費、パソコン等の器材費等は含まれません。また、クレジット会社に対する手数料、支給申請時点での未納の額（クレジット会社を介してクレジット契約が成立している場合を除きます。）も教育訓練経費に含まれるものではありません。

（３）現金等（有価証券等を含みます。）や物品の還元的な給付（一つの講座について、クリアファイル等の総額千円未満の安価な物品等を付与する場合は除く。）その他の利益を受けた場合や、各種割引の適用を受けた場合には、その還元的な給付額や割引額等を差し引いた額が教育訓練給付金の対象となる教育訓練経費となります。

このため、このような還元的な給付等を受けた場合には、入学料及び受講料の額から当該還元額を控除した額で教育訓練給付金の支給を申請することが必要になります。

なお、当該教育訓練経費に係る領収書又はクレジット契約証明書の発行後、受講料の値引き等により教育訓練経費の一部の還付が行われた場合には、教育訓練給付金の支給申請に際しては、教育訓練実施者が受講者に発行する、還元額等が記載された「返還金明細書」の提出が必要となります。

（４）専門実践教育訓練給付金は、当該教育訓練を実際に本人が受講し、修了した場合支給されるものです。このため本人以外の者が受講し、修了等した場合には、専門実践教育訓練給付金は支給されません。

また、当該教育訓練の定期的な試験又は修了試験に際して、あらかじめ解答が添付されている場合等にあっては、当該教育訓練を修了する見込みがあるもの又は修了したものとは認められていませんので、専門実践教育訓練給付金の支給を受けることはできません。

別表１－１（学則第22条関係）

教育課程及び授業単位数・時間数

医療分野専門課程　理学療法学科

令和８年度入学第１学年（その１）

分野	教育内容	科目	単位数(時間数)		1学年		2学年		3学年		4学年		備考
			講義	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習	
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解	心理学	2(30)		2(30)								
		倫理学	2(30)		2(30)								
		基礎数学	1(15)		1(15)								
		物理学	2(30)		2(30)								
		英語	2(30)		2(30)								
		生命科学	2(30)		2(30)								
		文章構成法Ⅰ	2(30)		2(30)								
		文章構成法Ⅱ	2(30)				2(30)						
		社会福祉論	1(15)		1(15)								
		人間関係論	2(30)		2(30)								
		情報科学	2(30)		2(30)								
		健康体力科学	1(15)		1(15)								
		体育実習Ⅰ		1(30)		1(30)							
		体育実習Ⅱ		1(30)				1(30)					
	合計		21(315)	2(60)	19(285)	1(30)	2(30)	1(30)	0	0	0	0	
			23(375)		20(315)		3(60)		0		0		
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	1(30)		1(30)								
		解剖学Ⅱ	1(30)		1(30)								
		解剖学実習Ⅰ		1(45)		1(45)							
		解剖学実習Ⅱ		1(45)		1(45)							
		生理学Ⅰ	1(30)		1(30)								
		生理学Ⅱ	1(30)		1(30)								
		生理学実習		1(45)		1(45)							
		運動学Ⅰ	2(30)		2(30)								
		運動学Ⅱ	2(30)				2(30)						
		運動学実習		1(30)				1(30)					
		生化学	1(15)				1(15)						
		人間発達学	1(15)		1(15)								
		小計	10(210)	4(165)	7(165)	3(135)	3(45)	1(30)	0	0	0	0	
			14(375)		10(300)		4(75)		0		0		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	1(15)				1(15)						
		臨床心理学	2(30)						2(30)				
		栄養学	1(15)								1(15)		
		臨床薬学	1(15)								1(15)		
		救急救命	1(15)								1(15)		
		内科学Ⅰ	2(30)				2(30)						
		内科学Ⅱ	2(30)				2(30)						
		整形外科学	2(30)				2(30)						
		中枢神経疾患	2(30)				2(30)						
		精神医学	2(30)				2(30)						
		一般臨床医学	2(30)				2(30)						
		小計	18(270)	0	0	0	13(195)	0	2(30)	0	3(45)	0	
			18(270)		0		13(195)		2(30)		3(45)		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学	2(30)						2(30)				
		ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ概論	2(30)		2(30)								
		ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ概論実習		1(45)		1(45)							
		社会保障論	1(15)								1(15)		
		小計	5(75)	1(45)	2(30)	1(45)	0	0	2(30)	0	1(15)	0	
			6(120)		3(75)		0		2(30)		1(15)		
	合計		33(555)	5(210)	9(195)	4(180)	16(240)	1(30)	4(60)	0	4(60)	0	
			38(765)		13(375)		17(270)		4(60)		4(60)		

別表１－１（学則第22条関係）

教育課程及び授業単位数・時間数

医療分野専門課程　理学療法学科

令和８年度入学第１学年（その２）

分野	教育内容	科目	単位数(時間数)		1学年		2学年		3学年		4学年		備考
			講義	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習	講義	実習	
専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	1(30)		1(30)								
		理学療法基礎技術論	1(30)		1(30)								
		病態運動学	1(30)				1(30)						
		病態運動学実習		1(45)				1(45)					
		理学療法演習Ⅰ	1(15)		1(15)								
		理学療法演習Ⅱ	1(30)				1(30)						
		理学療法演習Ⅲ	1(30)						1(30)				
		小計	6(165)	1(45)	3(75)	0	2(60)	1(45)	1(30)	0	0	0	
			7(210)		3(75)		3(105)		1(30)		0		
	理学療法管理学	理学療法制度論	1(15)								1(15)		
		理学療法管理学	1(15)								1(15)		
		小計	2(30)	0	0	0	0	0	0	0	2(30)	0	
			2(30)		0		0		0		2(30)		
	理学療法評価学	基礎評価法実習		1(30)		1(30)							
		評価法実習Ⅰ		1(45)				1(45)					
		評価法実習Ⅱ		1(45)				1(45)					
		評価法実習Ⅲ		1(45)				1(45)					
		評価学総論	1(30)				1(30)						
		臨床評価学	1(30)				1(30)						
		臨床評価学実習		1(45)						1(45)			
		小計	2(60)	5(210)	0	1(30)	2(60)	3(135)	0	1(45)	0	0	
			7(270)		1(30)		5(195)		1(45)		0		
	理学療法治療学	義肢・装具学	1(30)						1(30)				
		義肢・装具学実習		1(45)								1(45)	
		日常生活活動	1(30)				1(30)						
		日常生活活動実習		1(45)						1(45)			
		運動療法	1(30)				1(30)						
		運動療法実習Ⅰ		1(45)				1(45)					
		運動療法実習Ⅱ		1(45)						1(45)			
		物理療法	1(30)								1(30)		
		物理療法実習		1(30)								1(30)	
		神経系の理学療法Ⅰ	1(30)						1(30)				
		神経系の理学療法Ⅱ	1(30)						1(30)				
		内部障害系の理学療法Ⅰ	1(30)						1(30)				
		内部障害系の理学療法Ⅱ	1(30)						1(30)				
		骨関節系の理学療法Ⅰ	1(30)						1(30)				
		骨関節系の理学療法Ⅱ	1(30)						1(30)				
		スポーツ理学療法	1(30)						1(30)				
		老年期理学療法	1(30)								1(30)		
		その他の理学療法	1(30)						1(30)				
		理学療法特論	3(90)								3(90)		
		卒業研究	1(30)						1(30)				
		卒業研究実習		2(90)								2(90)	
		小計	17(510)	7(300)	0	0	2(60)	1(45)	10(300)	2(90)	5(150)	4(165)	
			23(810)		0		3(105)		12(390)		9(315)		
	地域理学療法学	地域理学療法学Ⅰ	1(30)		1(30)								
		地域理学療法学Ⅱ	1(30)								1(30)		
		生活環境論	1(15)								1(15)		
		小計	3(75)	0	1(30)	0	0	0	0	0	2(45)	0	
			3(75)		1(30)		0		0		2(45)		
	臨床実習	検査臨床実習		3(135)				3(135)					
		評価臨床実習		3(135)						3(135)			
		総合臨床実習Ⅰ		6(270)						6(270)			
		総合臨床実習Ⅱ		7(315)								7(315)	
		地域臨床実習		1(45)								1(45)	
		小計	0	20(900)	0	0	0	3(135)	0	9(405)	0	8(360)	
			20(900)		0		3(135)		9(405)		8(360)		
	合計		30(840)	33(1455)	4(105)	1(30)	6(180)	8(360)	11(330)	12(540)	9(225)	12(525)	
			63(2295)		5(135)		14(540)		23(870)		21(750)		
総計（時間）			84(1710)	40(1725)	32(585)	6(240)	24(450)	10(420)	15(390)	12(540)	13(285)	12(525)	
総計（時間）			124(3435)		38(825)		34(870)		27(930)		25(810)		